
信じて。

都神紗茅

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
信じて。

【Nコード】
N6821C

【作者名】
都神紗茅

【あらすじ】
新一が組織と決着をつける数日前の出来事として、突発的に書いた蘭の一人称小説。

「大丈夫だよ」

そう言うのにも、いい加減疲れたの。まだ帰れない、もう少し待っててくれ。止めてよ。これ以上、そういう言葉をわたしに言うのは。

窓の外からは、台風の影響で吹いている強風が雨に勢いづけている音が聞こえる。まるで、今荒れているわたしの心みたいね。

どうして電話やメールの返事をくれないの？ と携帯に問いかけても、何も返ってこない。分かっているよ、そんなこと。わたしを呼ぶのは携帯じゃなくてその向こうにいる人だもの。

一ヶ月は連絡してないのよね。何だか嫌な気がする。なんでかな。わたしだけが何も知らされていないから？

コナン君に心の一部を投げかけると、いつだって同じことを言う。

「新一兄ちゃん絶対帰ってくる。だから、僕を信じて」

そんな辛そうな表情で言わないで。いつものコナン君らしく、まっすぐに自信満々な瞳でわたしを貫いてよ。そうすれば、今のわたしだっていなくなってくれるかも知れないんだよ。

後ろにある扉の開閉音が聞こえて後ろを振り向く。コナン君だ。

今もやっぱりあの表情じゃない。

お願いだから、そんな顔でわたしを見ないでよ。

「蘭姉ちゃん、泣いてる」

本当だ。わたし、いつの間にか泣いてたんだ。全然気づかなかった。

「大丈夫、ちょっと目に塵が入っちゃっただけ」

また強がっちゃった。大丈夫なんて言い疲れたくせに。大バカね、わたし。辛うじて笑顔を見せたつもりだったけど、やっぱりもたないよ。

視界が涙でぼやけて、コナン君の表情も見えない。これで……うん、これがいい。

「泣くな」

子供らしくないコナン君は、何故か分からないけどどうしても新一と被っちゃう。

「って、新一兄ちゃんなら言っと思っよ」

語尾が曖昧なくせに、どうして確信を持った口調に聞こえるんだろう？ 分からない。

そんなこんなで悩んでるうちに、コナン君は事務所を出ていつてしまった。パタン、と寂しげに響いた鉄製の扉の音が残った。それから何分たったか分からないけど、携帯が着信を知らせた。

「もしもし」

『よお蘭、元気か？』

一ヶ月ぶりに聞いた、生意気そうな新一の声。凄く嬉しい。今までは電話をかけてもメールをしても返事は返ってこなかったものでも。

「バカ、一ヶ月もどうしてたのよ？ 心配してたんだから」

『ちよっと事件で色々あってよ。それよりお前、泣いてんだろ？』

コナン君に聞いたのかな。電話が来るまで何分か間があったし。

「だ、だから何？ わたしがいつどこで泣こうが新一には関係ないじゃない」

『オメーが泣いたら、コナンが迷惑すると思ってよ』

何よ。

「そうやっていつも新一は冗談ばかり……もういい加減にしてよ」

何も聞こえてこない。やっぱり言い過ぎちゃったんだよね。

『そうだよな。ゴメン……でも、もうすぐで事件も解決しそうなんだ。だから、それまで』

マッテテクレ？

頭に浮かぶ文字。いつもとやっぱり同じなんだね。また泣いちゃうそう。わたし、弱いのかな。

『オレを信じててくれ』

あれ？ 微妙に違う。それでも、いいかな。

「うん」

わたしも、新一を信じてみるよ。それまでは待つから。
だから……。

（後書き）

一人称初挑戦だったんですが、やはり難しいです…。

実はこの小説を書き始めるきっかけになった曲があるんですが、分かった方はいらっしゃいますかね？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6821c/>

信じて。

2011年1月15日03時19分発行